

読書のすゝめ

その16

R1 7/16

ビブリオバトル

in 銚キター (銚田北中)

7月10日(水)銚田北中学校でビブリオバトルをおこなってきました。バトル(発表者)は4名、司会進行と運営に図書委員3名の計7名で発表してきました。

NHKと新聞社の取材がはいつていたため、やや緊張気味でのスタートでしたが、バトルが「5分間で本を紹介する」ためにゼスチャーを交えながら堂々の発表をおこない、時に笑いも入って、あつという間の1時間となりました。

4人ともにジャンルの異なる本を紹介し、投票も白熱しましたが、3年川崎寿時さんが紹介した

『女同士とありえないでしよ』と言いつ張る女の子を、百日間で徹底的に落とす百合のお話』がチャンプ本となりました。



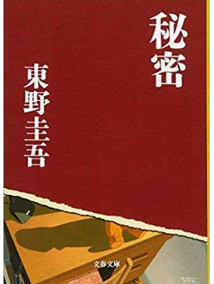
川崎さんは、今回の参院選において性的少数派(LGBT)支援を公約としている政党が多数出ており、茨城県においても知事がパートナーシップ制度の導入から宣誓受領書を交付していることを語り、ライトノベルではありますが、そうした今日の話題に触れながらの切り口は、思わずうくと唸る構成と紹介でした。

女同士とありえないでしよ
言いつ張る女の子を、
百日間で徹底的に
落とす百合のお話

成島翠さんは『I Love Youの訳し方』を紹介。一番好きな太宰治の訳を讀み上げて共感を呼びました。



菅谷剛生さんは東野圭吾の『秘密』。本の帯に書かれていた紹介文に惹かれて購入したが、奇妙な「家族」のあり方の(せつなさ)に涙したと語りました。



佐伯美嘉さんは『とりかえば物語』。『源氏物語』ばかりが古典じゃないのよと、文学そのものを楽しみを熱く語りました。

図書委員長の高橋悠斗さん、副委員長の安達詢杜さん、会計の佐瀬七海さんの3名が司会進行、タイムマー、投票用紙回収と運営に関わりました。

いば6や8時の具内ニュースの2回NHKで発表の様子が放映されました。参加したみなさんお疲れ様でした。

